

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	16 火葬場・墓地
事務事業名			
03 市有墓地管理事業		問	担当課(室) 環境課
		職・氏名	衛生係長・森本和成
		電話	64-1821

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	墓地区画を必要とする市民
目的(何のために)	市民の墓地需要に対応するため
行政活動(どのような方法で)	新設墓地の造成又は、既設墓地の整備
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	墓地需要を満たす

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
墓地数	ヶ所	13	13	13	
区画数	区画	1,454	1,454	1,454	
当該年度使用許可件数	件	6	13	2	
残区画数	区画	51	38	40	
事業費					
直接事業費	千円	7,557	9,638	7,470	
必要人員人件費		0.56人	0.30人	0.18人	
事業費計		9,927	14,833	8,680	
財源					
国・県・市・道・支・出・金					
受・益・者・負・担・金		6379	5344	625	
総・入・金	千円				
市・債					
そ・他					
一		3,548	9,489	8,055	
受・益・者・負・担・比・率	%	64.3%	36.0%	7.2%	

結果指標①					
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
使用許可件数	件	6	13	2	
対前年対比	%	-	216.7%	15.4%	
活動コスト	円	9,927,000	14,833,000	8,680,000	
単位当たりコスト	円	1,654,500	1,141,000	4,340,000	
結果指標②					
対前年対比	%				
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
個人墓地経営許可件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	4	4	3	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
市営墓地の残区画が少なく、個人墓地の許可申請・問い合わせ等が増加している。計画的な新設墓地の造成又は、既存墓地の区画造成を行うことにより市民の需要を満たし、新規個人墓地経営許可件数を減らす。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	岡山県墓地等の経営の許可等に関する条例第3条の規定により市町村は、その区域内における墓地等の需要の状況に基づき、自ら墓地等を計画的に設置する等墓地等の整備の促進に必要な施策の実施に努める必要がある。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>
			墓地の需要については、毎年のように市内に無許可墓地が造成されており、岡山県がその対応を行っているが、県条例にもあるように、市町村は、墓地等の需要の状況に基づき、自ら墓地等を計画的に設置する等墓地等の整備の促進に必要な施策の実施に努める必要がある。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			
説明	市民の墓地需要は引き続きあり、今後も整備を行う必要がある。特に要望の多い、日生地域については寒河墓園内に10区画であるが、区画の増設を行う。					

総合評価		評価区分<A~E>
現在の市有墓地は残区画数が減少しているため、市民の墓地需要に対応するために、区画を造成する必要がある。備前地域：残区画数 2、日生地域：残区画数 0、吉永地域：残区画数 36		

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	引き続き、墓地の造成等を検討する。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	妥当性	市営墓地の区画造成	平成23年度	墓地需要への対応		